

株式会社長和町振興公社経営健全化方針

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和7年3月31日

作成担当部署 長和町 産業建設課

2. 第三セクター等の概要

法人名 株式会社長和町振興公社

代表者名 代表取締役 柳澤 秀雄

所在地 長野県小県郡長和町古町2436番地1

設立年 平成12年 (株式会社長門町振興公社)

平成17年10月町村合併により「株式会社長和町振興公社」へ社名変更

資本金 3,000千円【長和町出資額2,940千円(98%)】25期から減資

業務内容 公衆浴場施設管理運営、食堂営業、物販・お土産品店営業、その他管理
運営委託業務

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社長和町振興公社（以下、「振興公社」という。）は、町民福祉や地域振興などを目的とした公共施設の管理運営を担うため設立され、令和4年4月から「長門温泉やすらぎの湯」、「和田宿温泉ふれあいの湯・ふれあい食堂」、「道の駅大型農畜産物直売所（足湯施設）」の各事業を町からの指定管理により、「町ケーブルテレビ」事業の一部を町からの業務委託により運営しています。

令和4年3月までは上記のほか、収益性の高い「町営ブランシュたかやまスキー場」、「和紙体験及び食堂施設」、「宿泊施設」、「キャンプ場」の各事業を町からの指定管理や独自事業として運営していましたが、経営健全化を図るため、令和2年より「ブランシュたかやまスキー場あり方検討委員会」における協議及び令和3年より「株式会社長和町振興公社あり方検討委員会」を設置し合同にて協議し、収益性の高い事業について新たな「公設・民営」の考え方のもと設立された新会社「株式会社マウント長和」へ令和4年4月より指定管理等を変更し、現在に至っています。

経営状況について、スキー場の収支が振興公社全体の約6割を占め、その結果によって経営が大きく左右される中、町は平成26年度に「長和町振興公社振興基金」100,000千円を創設し、この基金を活用し振興公社に対し短期貸付を行い、経営安定を図る運営資金支援を行いました。

経営が厳しい状況が続く中、更に令和2年3月からのコロナ禍により各施設の売上げがかなり減少し、令和2年10月1日から令和3年9月30日までの振興公社第23期決算において債務超過に陥りました。

町は振興公社の経営支援として令和2年度32,772千円、令和4年度23,000千円実施し、あわせて温泉施設に対しエネルギー高騰支援として7,500千円実施しました。また、振興公社は新型コロナウイルス感染症対応の県制度資金を140,000千円借入れ、コロナ禍の資金確保を行いました。

振興公社が有形固定資産を有する状況である中、振興公社から指定管理の変更した各施設で振興公社名義となっていた資産を町が令和4年度100,000千円で買い取り

を行いました。

債務超過に陥った後の対応を受け、令和3年10月1日から令和4年9月30日までの振興公社第24期決算においては、第23期決算より改善され、債務超過を免れることができました。

25期においては、令和5年5月8日より新型コロナウイルスが第5類となりコロナ前の状況に戻ると期待しましたが、温泉の利用者はコロナ前と比べて約3万人減少しました。26期においては、利用客の回復傾向がみられ昨期よりも約1万人増加しました。ただし、物価の高騰、特に水道光熱費がコロナ前に比べて約7,000千円上昇しており、また賃金の上昇など経営は厳しい状況でした。町は振興公社への経営支援として令和4年度7,750千円、令和5年度4,955千円実施しました。また25期26期の経営状況を踏まえ、令和6年度4月より指定管理料を増額しました。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

既に参加しました、収益性の高い事業を株式会社マウント長和へ指定管理を変更したことは、振興公社におきまして大きな改革となりました。今後の経営方針としましては、町が設置しています「振興公社あり方検討委員会」を継続して実施し、専門家の意見を交え、振興公社の経営状況の見直しを図ってまいります。

5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

令和4年10月から温泉施設の料金値上げにより増収は見込んでいますが、近年のエネルギー価格高騰によるランニングコストの大幅増は吸収しきれていないため、魅力ある施設運営を行い、更なる増収を図りながら、コスト減対策を講じてまいります。

また振興公社内部組織の見直しや「振興公社あり方検討委員会」において検討した方向性について、取締役会にて承認され、令和6年4月から新しい体制として動き始めました。

6. 法人の財務状況

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

期	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期
決算期	令和 3 年 9 月	令和 4 年 9 月	令和 5 年 9 月	令和 6 年 9 月
事業期間	12 ヶ月	12 ヶ月	12 ヶ月	12 ヶ月
資産総額	318,460	43,129	40,888	47,290
(うち現預金)	140,697	31,905	14,961	35,973
(うち売上債権)	17,299	1,737	19,075	3,431
(うち棚卸資産)	12,700	2,468	2,598	3,149
負債総額	328,628	38,910	42,105	53,363
純資産額	△10,218	4,218	△1,216	△6,672

(2) 損益計算書

(単位：千円)

期	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期
決算期	令和 3 年 9 月	令和 4 年 9 月	令和 5 年 9 月	令和 6 年 9 月
事業期間	12 ヶ月	12 ヶ月	12 ヶ月	12 ヶ月
売上高	377,349	408,873	140,684	159,603
売上原価	38,197	35,901	24,317	28,727
売上総利益	339,151	372,972	116,367	130,876
営業利益	△88,291	△13,521	△20,488	△5,968
経常利益	△18,160	17,140	△8,379	△4,684
当期純利益	△18,423	14,437	△5,435	△4,855